

NRI Collaborative Session: コミュニティベース接続のための NRI 持続可能モデル

コミュニティネットワーク：包摂的な普遍的アクセス実現への鍵

現在、インターネット接続は基本的な人権、教育、医療、市民参加、経済発展を行使するための基本的な条件です。しかし、世界中の何百万人もの人々、特に地方、先住民、および都市周辺地域の人々は、依然としてデジタル排除に直面しており、従来の展開モデルがこの格差を埋めることに失敗していることを示しています。

コミュニティネットワークの役割と課題

この文脈において、コミュニティベースのネットワークは、これまで十分なサービスを受けられなかったコミュニティに接続性をもたらす、実行可能で持続可能かつ深く根付いた代替手段であることが証明されています。これらのイニシアチブは、社会組織、地域の知識、および協力的作業によって推進され、大規模な事業者のみがアクセスを保証できるという考えに異議を唱えています。

このセッションは、これらコミュニティネットワークが直面する課題と機会について、多部門にわたる対話を行うことを提案しています。

- **公共政策による認識と強化:** どのように公共政策を通じてコミュニティネットワークを認識し、強化できるか。
- **規制枠組みと資金調達モデル:** どのような規制枠組みと資金調達モデルがその拡大を可能にするか。
- **普遍的で手頃な価格の有意義なアクセスを保証するための連携:** 普遍的で手頃な価格の有意義なアクセスを保証するために、どのような連携を築くべきか。

これらの質問に取り組むことは、より包摂的で効果的な政策の構築に貢献するだけでなく、コ

コミュニティを自分たちのデジタル開発の**主役**として認識することにもつながります。

セッションの焦点と共同主催者

このセッションは、具体的な問題に焦点を当てた議論を通じて、**コミュニティネットワーク**による**包摂的かつ持続可能な接続性**を推進するために不可欠な 6 つの主要分野に取り組みます。参加者は、コスト削減、アクセスの拡大、および地域ネットワークの法的権限付与のための**実用的な政策および規制改革**を探求します。また、長期的な持続可能性を確保するための**ユニバーサル ICT 基金**や**税制優遇措置**を含む**資金調達戦略**も議論されます。

さらに、公共政策が**コミュニティネットワーク**を正式に認識し、国家計画に統合する方法、および疎外されたコミュニティのための**参加型ガバナンス**を促進する方法についても議論されます。デジタル権利に合致した**多部門連携**、有意義な所有権、そしてコミュニティが独自のネットワークインフラを独立して管理し維持するために必要な**能力開発戦略**に重点が置かれます。

共同主催者

このセッションは、以下を含む、さまざまな国、地域、およびユース IGF イニシアチブ(NRI)の代表者によって共同開催されました。

- シンガポール IGF の Henry Wang 氏と Una Wang 氏
- IGF-USA の Judith Hellerstein 氏
- コロンビア IGF の Julián Casasbuenas G.氏
- ユースザンビア IGF の Levy Syanseke 氏
- ガンビア IGF の Poncelet Ileleji 氏
- カーボベルデ IGF の Suzete Centeio 氏
- ポルトガル IGF の Tiago Martins 氏
- 日本 IGF の Shin Yamasaki 氏
- レバノン IGF の Zeina Bou Harb 氏
- 北アフリカ IGF の Ahmed Farah 氏
- アルバニア IGF の Fotjon Kosta 氏
- スリランカ IGF の Kasun Tharaka 氏
- 西アフリカ IGF の Mary Uduma 氏
- チリ IGF の Marcelo Valenzuela 氏

- パナマ IGF の Elia Gabriela (Rachel Gaby) Vasquez Hermoso 氏
- エチオピアユース IGF の Saba Tiku 氏
- LACIGF の Lilian Chamorro 氏
- ボリビア IGF の Roberto Zambrana 氏

パネリスト

- Ms. Aicha Jerid, Senior Director of Digital Marketing and Innovation, Honoris Casablanca | North Africa IGF, Arab IGF (Tunisia)
- Mr. Chafic Chaya, Regional Manager for Public Policy and Government Affairs in the Middle East for RIPE NCC | Lebanon IGF Chair (Lebanon)
- Mr. Julius Zube, Head of International Partnerships, NRD Companies (Lithuania)
- Ms. Lilian Chamorro, LACIGF Secretariat Coordinator, Colnodo | Colombia IGF, (Colombia)
- Mr. Claude Dorion, General Director at MCE Conseils | (Canada)
- Mr. Henry Wang, Founder of World Web3 Alliance (W3A) | Singapore IGF (Singapore)

セッションの流れ

- Welcome by the moderator and introduction (5 min)
- Setting the stage by designated and endorsed speakers (20 min)
- Open floor discussion (20 min)
- Conclusion and closing (5 min)

Onsite moderator: Ms. Peace Oliver Amuge, African IGF, APC

Online moderator: Ms. Judith Hellerstein, IGF-USA

Rapporteur: Ms. Noha Ashraf Abdel Baky, ISOC Egypt, Pan-African Youth Ambassador in IG

セッション要約

このセッションは、いまだインターネットに接続されていない人々、特に地方、都市周辺部、先住民コミュニティに焦点を当て、コミュニティネットワークによる接続性のギャップを埋めるための持続可能なモデルを探求しました。参加者は、課題、経験、および既存の政策フレームワークについて議論しました。

主要な議論と提言

1. 包括的な政策と強固な規制枠組み:

- インターネットへのアクセスは贅沢品ではなく**権利**として認識されるべきです。
- 接続性の課題は、技術的な問題よりも**政策の失敗**に起因することが多いです。
- 政府は単独で問題を解決できないため、**マルチステークホルダーが積極的なパートナー**として協力する必要があります。地域社会の声に基づいた信頼できる政策が必要です。

2. コミュニティネットワークの法的確立と運営を支援するための国内規制:

- 多様な接続モデルを認識し、地域社会のニーズに対応するためには、従来の通信事業者とは異なる、オープンで共有に基づいた**コミュニティ運営モデル**が必要です。
- **コミュニティネットワーク**には、従来のモデルと同じ要件を課すべきではありません。手数料の削減や簡素化された要件が必要です。
- 普遍的アクセス基金からの資金提供を受けるべきです。現在は大学や国際基金からの資金に依存していますが、商業モデルとは異なる代替資源が必要です。

3. コミュニティネットワーク開発を促進する政府と市民社会間の戦略的連携:

- リトアニアの事例では、政府、学术界、民間企業、NGO が連携し、図書館を公共インターネットアクセスポイントとして活用するなど、都市と地方のデジタル格差を埋めることに成功しました。
- これは、**マルチステークホルダー**なアプローチが、コミュニティネットワークの開発を強化できる好例です。

4. 地方および先住民コミュニティの政策立案への効果的な参加とネットワーク管理・維持能力の構築戦略:

- コミュニティネットワークは**ボトムアップ**のアプローチであり、参加型でコスト効率が高いです。
- **メッシュネットワーク**や低軌道衛星、ブロックチェーンプロトコルなどの****分散型物理ネットワーク (DePIN) ****技術は、地域社会が独自のネットワークを構築・維持するための強力なツールとなり得ます。これにより、データ主権と文化の保護が可能になります。
- これらの技術は、電力源が限られた遠隔地でも、ソーラーパネルとバッテリーを備えたメッシュボックスによって機能し、コミュニティ主導のネットワークを可能にします。

5. 持続可能なコミュニティネットワークを支援する資金メカニズムとインセンティブ:

- 接続性は市場であると同時に権利でもあり、社会サービスとして位置づけられます。

- 社会的経済の経験から、助成金（影響を資金提供）、ローン（資産を資金提供）、および長期的な柔軟なローンによる混合資金調達文化が提案されました。
- デジタルデバイドと資金デバイドの間の対話を通じて、コミュニティベースのプロジェクトに公正な資金提供ソリューションをもたらすことができます。

6. 政策がデジタルスキルとコミュニティ主導の技術を強化する方法:

- コミュニティネットワークは、接続性だけでなく、女性、若者、障害者を含む恵まれない人々のエンパワーメントにもつながります。
- 政策は、包括的なデジタル教育とトレーニングに投資し、農村部を含む地域にデジタルスキルを拡大し、市民社会との協力によるトレーニングを支援すべきです。
- コミュニティが大規模な ISP への依存を減らし、独自のインフラを設計できるようにすべきです。
- デジタルデバイスへの課税を減らし、学校や図書館などの公共インターネットアクセスを支援することで、手頃な価格のインターネットを促進すべきです。
- 小規模な助成金や低金利ローンを提供することで、地域コミュニティの取り組みを認識し、支援すべきです。
- 政策は政府単独ではなく、すべてのマルチステークホルダーの参加による集団的努力であるべきです。デジタル包摂協議会や大使の創設も提言されました。

7. 多様なアプローチとインターネット・ガバナンス・フォーラム（IGF）の役割:

- 各地域や国の状況は大きく異なるため、接続のためのビジネスモデルや戦略も多様であるべきです。
- 地域および国の IGF プラットフォームは、これらの多様なアプローチを議論し、国家戦略や地域戦略を策定する場として機能できます。
- 資金調達の方法（国家補助金、助成金、寄付など）は国によって異なりますが、これらは IGF で議論されるべき問題です。

8. 能力開発と専門知識の提供:

- コミュニティネットワークの運営には、技術的知識だけでなく、経営や組織運営の

スキルも必要です。

- IGF の参加組織は、これらのスキルをコミュニティの人々に提供することで、能力開発に貢献できます。これにより、コミュニティは自律的にネットワークを運営できるようになります。

9. 資金調達の課題と透明性:

- エクアドルの事例では、通信プロバイダーの純利益の 1%を税金として徴収し、年間 2500 万ドルが投入されているにもかかわらず、その資金がどこに使われているのか不透明であるという懸念が示されました。政府がこの問題に注意を払い、透明性を高めることが求められます。

10. コミュニティネットワークのニーズと政府の支援:

- ガーナの参加者からは、農民が生産物を市場で販売するための情報にアクセスするなど、コミュニティの具体的なニーズにネットワークを合わせることの重要性が強調されました。
- 政府は、これらのニーズに対応するために、コミュニティネットワークを支援すべきです（例：地方住民がパスポートを取得するために都市に行く必要をなくするなど）。

11. パネリストからの最終コメントと NRI の役割:

- NRI は、各国の接続性に関する課題と機会を議論し、その結果を政策決定者に報告する重要な役割を担っています。
- NRI はまた、能力開発と意識向上の活動を通じて、コミュニティに技術的専門知識と意識を提供します。
- RIPE NCC のようなグローバルな組織は、NRI と密接に連携し、資金提供や専門知識の提供を通じてコミュニティネットワークの構築を支援しています。
- 北アフリカ NRI の例では、ICT 省と連携して、特に女性や地方住民向けのオンサイトおよびオンラインの能力開発セッションを提案するなど、NRI が政府に積極的に働きかけることの重要性が示されました。
- コミュニティネットワークは、単なる接続性だけでなく、「エンパワーメント」で

あり、デジタルリテラシーやデジタルマーケティングのスキルを含む能力開発が不可欠です。

- コミュニティネットワークは、始まりと終わりがある単なるプロジェクトではなく、持続可能性、多様なモデル、トレーニング、地域ガバナンス、スペクトルへのアクセス、そして複数のアクターが関与する強力なエコシステムを必要とするプロセスです。
- プロジェクトの多様性を認識し、外部リソースを可能な限り低コストで提供し、コミュニティの内部リソースを補完することで、地域主導のイニシアチブを尊重しながら、財務エコシステムを構築する必要があります。
- エクアドルの税金やリトアニアの官民連携の例は、公共の決定、民間の資源、地域の規制、地域のイニシアチブを組み合わせることで、コミュニティネットワークの数を増やし、利用料金を下げることに成功した事例として挙げられました。

参加者からの意見と追加の課題

- ボリビアの事例では、政府との連携、コミュニティでの能力開発、そしてコミュニティのニーズを最初から理解し、解決策を共同で構築することの重要性が強調されました。
- アフリカの参加者からは、「彼らのため」ではなく「彼らと共に」コミュニティネットワークを実装すること、そして資金をコミュニティの所有権に転換し、彼らが投資できる仕組みを作ることの重要性が提起されました。
- バングラデシュからの意見では、農村地域におけるコミュニティネットワークの持続可能性に関する課題（技術者の不足、高価なデバイス、技術知識の欠如）が指摘されました。
- 衛星接続ソリューションのコスト、投資収益率、および地方の低所得コミュニティでの複製可能性に関する質問が出されました。
- NRI が、政策提言や国家レベルの法制化への貢献を通じて、コミュニティネットワークの現実化を推進する上で果たすべき役割が議論されました。
- スマートフォンの操作ができる人なら誰でもコミュニティネットワークを操作できると

いう意見が出され、現在の技術がコミュニティによる自己支援を根本的に簡素化し、自動化できることが強調されました。

- ブロックチェーン技術に基づく分散型ソリューションの電力消費に関する懸念が提起されました。

結論

このセッションは、コミュニティネットワークがデジタルデバイドを解消し、より多くの人々をインターネットに接続するための不可欠な解決策であることを強く示しました。そのためには、政府、市民社会、学术界、民間セクターを含むマルチステークホルダー間の強力な協力が必要です。また、地域社会のニーズに合わせた政策、持続可能な資金メカニズム、デジタルスキルの強化、そして技術革新の活用が鍵となります。NRI は、このような対話と協力のプラットフォームを提供し、地域レベルでの実践をグローバルな政策立案につなげる上で重要な役割を果たすことができます。さらに、能力開発、適切な資金調達モデルの構築、そしてコミュニティの具体的なニーズに応えることの重要性が強調されました。